

第 60 回全附連高等学校部会教育研究大会報告

研究部 玉 谷 直 子

2018 年度の全附連高等学校部会研究大会は、「理科」、「保健体育科」、「家庭科」、「生活指導」、「附属のあり方」、の 5 分科会が設けられ、10 月 26 日（金）、27 日（土）の両日、下記の日程で、広島大学附属高等学校において開催された。本校からは副校長と教諭 6 名が参加した。

<日 程>

第 1 日 < 10 月 26 日(金) >

9:00	9:30	10:00	12:30	13:30	16:30	17:00
受 付	全体会	分科会 1	昼 食	分科会 2	準備会	

第 2 日 < 10 月 27 日(土) >

9:00	10:30	10:45	12:15	12:45
分科会 3	休憩	講演会	高校部会総会	

* 講演会の内容は次のとおりである。

テーマ：「ヒロシマの願いを世界へー被爆の惨状から核廃絶へー」

講演者：原田浩氏（広島平和記念資料館元館長，元広島市国際平和担当理事）

本校からは下記の 3 名が 4 件の報告を行った。概要については、次ページからの報告を参照されたい。

「理科分科会」

ICT 利用で物理をより理解することはできるのか？

ー生徒の「分析」から ICT 利用バランスを探るー

朝 倉 彬

「保健体育科分科会」

ヘルスリテラシーを育む NIE 活用の可能性

佐 藤 健 太

「家庭科分科会」

エシカルな文化祭ー学びの実践のあり方を考えるー

葭 内 ありさ

「生活指導分科会」

生徒・教員の両者にとって持続可能な部活動を②

ー内規の運用から半年間を経てー

佐 藤 健 太